

行政 トピックス



市長と地域住民のパイプ役
輝くまちの未来、後進に託す

—南丹市参与退任式—

12月31日付けで退任する3人の
参与の退任式を、12月28日に市役
所において行いました。

参与は、旧町の特別職の中から
各町1人を選任し、市長が任命。
各支所長を兼ね、南丹市誕生から
4年間、地域住民の相談役となり、



▲職員から花束を受ける参与



▲拍手で送る職員の中を退場する参与

本庁と支所とのパイプ役として尽
力しました。

國府正典参与は、八木町役場に
奉職し、建設課長、総務課長、参事、
八木町助役、合併後は参与、市長
職務代理者を歴任。浅野敏昭参与
は、日吉町役場に奉職し、ダム対
策課長、企画推進課長、総務課長、
参事、日吉町助役、合併後は参与
を歴任。中島三夫参与は、美山町
議会議員、同副議長、美山町長、
合併後は参与を歴任しました。
なお、1月1日付けで人事異動
を行い、各支所に支所長（部長級）
を配置し、参与在任中と同様に本
庁・支所間の連携を深め市政を推
進します。

両首長と船井まらの未来を語る

—新春賀詞交換会—

新年のあいさつを交わす「新春
賀詞交換会」が1月4日、南丹市
国際交流会館で開かれ、佐々木南
丹市長、寺尾京丹波町長や商工関
係者らおよそ170人が出席され
ました。

主催する社団法人船井青年会議
所は「明るい豊かな社会の実現」
という基本理念のもと活動。「輝
け！自分が輝けば船井まらが輝く！！笑
顔溢れる船井まらとなれ！！」を平成22
年度スローガンとしてさまざまな
活動を展開されます。

この日は、森邦彦理事長と両首
長の3人による「船井まらの未来」を
テーマにしたパネルディスカッ
ションも行われました。



▲オープニングに太鼓の演奏を披露する会員ら

叙 勲

旭日単光章

「地域交通網整備に尽力」

故・八木 守雄さん(八木町)

昭和54年11月から3期12年間、
八木町議会議員として地方行政の
発展に尽力。八木町議会副議長、
同産業建設常任委員会委員長、同
国鉄国道対策特別委員会委員長な
どを歴任。議員在任中は、丸いも・
玉ねぎなど特産品による農業振興
対策を始め、土地区画整理事業、
下排水路対策事業の推進に尽力さ
れたほか、副議長在任中は、山陰
本線複線電化や京都縦貫自動車道
の整備促進に、その手腕を大いに
発揮されました。

ご冥福をお祈りします。